

令和5年度 第2次募集 選抜・評価方法

学校番号 80
千葉県立佐倉西高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者1名・評価者2名の個人面接 検査時間：5分
(3) 作文	800字以内で日本語による作文 検査時間：40分

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔185点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限50点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	欠席が3年間で50日以上又は各学年で30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	〇が2つ以下の場合、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、ボランティア活動、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述及び取得資格等で顕著なものについては加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接〔40点満点〕

2名の評価者が、2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを10点、bを6点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各20点満点）を合計し、得点化する。

評価項目	評価基準
(ア) 身だしなみ・態度	検査に臨む心構えと身だしなみができている。 話す態度、聞く態度ができている。
(イ) 応答の内容	質問に対して、適切に応答することができる。 発言の内容が整理されており、まとまっている。

(3) 各高等学校において別に定める検査（作文）〔40点満点〕

2名の評価者が、2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを10点、bを6点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各20点満点）を合計し、得点化する。

評価項目	評価基準
(ア) 作文の形式	適切な文字数と正しい言葉で表現している。
(イ) 内容	与えられた主題に対して、適切な内容である。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「各高等学校において別に定める検査（作文）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

< 総得点の満点の内訳 >

調査書の得点		面接の得点	各高等学校において別に定める検査の得点	総得点
評定	加点		作文	
135点	50点	40点	40点	265点

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

4 その他

過年度卒業者については、各高等学校において別に定める検査（作文）終了後、別途個人面談を行う。